

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における阪南小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年4月から令和6年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学校部第5学年の原則として全児童
- ・阪南小学校では、5年生 153名

3 調査内容

- ・児童に対する調査
ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）を実施する。

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

| | | |
|------------|-----|-----|
| 大阪市立 阪南小学校 | 児童数 | 153 |
|------------|-----|-----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------------|------|--------|----------|-------|
| 男子 | 15.94 | 19.56 | 33.65 | 43.38 | 43.73 | 9.54 | 145.90 | 19.08 | 51.73 |
| 大阪市 | 15.78 | 19.09 | 32.72 | 38.56 | 45.05 | 9.52 | 147.96 | 20.45 | 51.13 |
| 全国 | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90 | 9.50 | 150.42 | 20.75 | 52.53 |
| 女子 | 16.34 | 17.79 | 36.11 | 41.06 | 33.14 | 9.93 | 138.89 | 13.16 | 52.93 |
| 大阪市 | 15.64 | 18.06 | 37.62 | 36.76 | 34.65 | 9.83 | 139.56 | 12.71 | 52.47 |
| 全国 | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59 | 9.77 | 143.13 | 13.15 | 53.92 |

結果の概要

- 体力合計点は、男女ともに大阪市平均を上回り、全国平均を下回る結果となった。また、男女とも令和4年度より向上している。男子は、「上体起こし」「反復横とび」で、女子は、「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」で大阪市平均値、全国平均値を上回った。
- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に、最も肯定的な回答である「好き」と回答した児童は男女とも全国平均を上回っている。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は7.9%、女子は12%と全国平均を下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 「運営に関する計画」の取り組み内容に、「児童が運動に親しむ機会や場の工夫に取り組むことで、運動に関する意識の向上を図る。」と設定している。休憩時間を15分間にし、学年でローテーションを組むことで、安全に配慮しながら、できる限り広い場所で長い時間、様々なボール、器具、遊具等で体を使った活動できるようにルールを決め取り組んでいる。その結果、運動やスポーツに対して好意的に捉え、運動する時間の確保になり、体力や運動能力の向上につながっている。
- 体育科の授業改善や休憩時間の取り組みにより、児童の運動やスポーツに対しての意識は改善されつつある。20mシャトルラン、50m走、立ち幅とびの3種目について、男女とも全国平均・大阪市平均ともに下回っている。今後、体育の授業や運動委員会を活用した取り組みにおいて、全身持久力、跳躍力、走力を高める運動を意識した実践を行う。